

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(5)番 福山市立 川口 小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決力	コミュニケーション力	協調性	自律性
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	課題の解決に向けて、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、他者の考えと比較し、統合・分類、法則化、よりよい考えについての検討等を行う。		自他の立場・自分の欲求ときまりとのおりあいをつけつつ、思いやりの心をもち協力して活動する。	高い目標をもち、粘り強く努力する。

2 授業の現状

児童が、個人思考場面で理由を持って自分の考えを書いたり、ペアトーク場面で相手に理解を促すように話したりする型が見え始めている。しかし、まだ主体的・双方向的な交流になっていないので、思考を深め合えていない。

転換

3 めざす授業の姿

課題の解決に向けて、自分の考えを根拠・理由を付けて書き、伝え合い、他者の考えと比較しながら、主体的・双方向的に交流し、思考を深め合うことができる児童を育てる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<p>①「個人思考場面で、[自分の考え]に理由を付けて書く」「ふりかえりを書く」の2種類の「書く」を授業に位置付ける。</p> <p>②ペア・グループ・集団の交流において、「つながり発言」を使って考えと考えをつなげながら発言させる。</p>	<p>①「自分の考えに理由を付けて書いている」と答えた児童が85.6%、「ふりかえりを書いている」と答えた児童が87.5%となった。 ▲「ふりかえり」の内容があまり充実していない。</p> <p>②「自分の考えと友達の考えをつないで発言している」と答えた児童が76.9%となった。 ▲自然な対話をする経験がまだまだ未熟である。</p>	<p>①ふりかえりを書かせる際、「ふりかえりの達人」で考えの変化や考え方のよさなどについての観点を示したり(低学年)、その時間の学びを再構成させながら書かせたり(高学年)する時間を確保する。</p> <p>②帯タイムで、ペア・グループで順序よく伝えたり、比べながら聞いたりして対話をする経験を積みませ、授業の交流場面に生かせるようにする。</p>	<p>①『「ふりかえりの達人」の観点を使得ふりかえりを書くことができる」と答える児童(低学年)が93%、「ふりかえりで学びを再構成することができる」と答える児童(高学年)が86%となった。 ▲「ふりかえり」を書けない児童が一定数いる。 ②「自分の考えと友達の考えをつないで発言している」と答える児童が79%となった。 ◎だんだんと「つながり発言」が定着してきている。</p>	<p>①ふりかえりを書く際は引き続き、「ふりかえりの達人」の観点を示し、学びを再構成させながら書かせる。ノートコンテストなどの機会を利用して、子ども同士でノートの交流をする場を設ける。</p> <p>②帯タイムで引き続き、対話の経験を積みませるとともに、「つながり発言週間」を設定し、クラスごとに「つながり発言宣言」として目標を掲げるなど、授業の中で意識的に使えるように促す。</p>	

5 取組の結果等

数値は2017年(H29年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	77(±0)	61(±0)
算数	81(±0)	49(+2)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	73.7(+2.2)	64.0(+11.6)
算数	83.6(+6.5)	74.4(+9.0)
理科	82.6(+12.2)	54.6(+3.6)

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 34 / 48	○『50m走』において、県平均値かつ全国平均値以上の割合を80%以上にするに対しては、75%にとどまった。	男女ともに反復横とびが県平均値より低い学年が多い。また、1日の運動実施時間が、30分未満である児童の割合が約25%と、4人に1人は体育の授業以外ではほとんど運動していない状況にある。	体育科授業において、「走」運動と関連させながら「すばやさ」を向上させる運動を取り入れる。また、職員研修を実施し、基本的な体育科の授業展開を全職員が行えるようにすることで、十分な運動量を確保できるようにする。さらに、休憩時間を使って楽しみながら体験できるようにする機会を設ける。
(女子) 34 / 48	○『立ち幅とび』において、県平均値かつ全国平均値以上の割合を80%以上にするに対しては、50%にとどまった。		
目標値	○「50m走」において、県平均値かつ全国平均値以上の割合を80%以上にする。 ○「反復横とび」において、県平均値かつ全国平均値以上の割合を80%以上にする。		

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	61.8	32.6	69.7	22.5	71.9	21.3
学校が楽しい	94.4					

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	28.0	32.0
仕事に充実感がある	24.0	24.0

児童生徒アンケート(%)

質問項目	(12)月実施	
	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	54	37
自分の考えは、認められている	46	44

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)

(12)月末現在

暴力行為	0.33	不登校	0.16
------	------	-----	------